



関西大学学術リポジトリ
Kansai University Institutional Repository

表紙、奥付、裏表紙

雑誌名	関西大学社会学部紀要
巻	37
号	2
発行年	2006-03-25
URL	http://hdl.handle.net/10112/12308

関 西 大 学
社会学部紀要

第 37 卷 第 2 号

平成 18 年 3 月

特集 対人関係の光と影 —「絆」の形成、拒絶、そして崩壊の社会心理学的研究—

「絆」の光と影

—「絆」のイメージとその構造に基づく「絆」尺度の作成—

.....高 木 修・戸 口 愛 泰…(3)

自尊感情が社会的排除・拒絶への反応に及ぼす効果遠 藤 由 美…(29)

つながりの不安と携帯メール辻 大 介…(43)

喪失対象との継続的關係

—形見の心的機能の検討を通して—池 内 裕 美…(53)

特集 感情科学の展開

怒りとその表出に関わる心理学的研究の概観高 木 修・阿 部 晋 吾…(71)

自伝的記憶と情動：情動的自伝的記憶の神経学的基盤関 口 理久子…(87)

非臨床群における抑うつ気分傾向が表情判断および表情に

反応した認知処理過程に及ぼす影響

.....関 口 理久子・吉 津 潤・雨 宮 俊 彦…(117)

日本語オノマトペの基本感情次元と日本語音感素の基本レベルについて

.....雨 宮 俊 彦・水 谷 聡 秀…(139)

関 西 大 学 社 会 学 部

執筆 者 紹 介 (掲載順)

高 木 修	本学社会学部教授
戸 口 愛 泰	本学大学院社会学研究科 博士課程後期課程
遠 藤 由 美	本学社会学部教授
辻 大 介	本学社会学部助教授
池 内 裕 美	本学社会学部助教授
阿 部 晋 吾	本学非常勤講師
関 口 理久子	本学社会学部教授
吉 津 潤	本学大学院社会学研究科 博士課程前期課程修了
雨 宮 俊 彦	本学社会学部教授
水 谷 聡 秀	本学ソシオネットワーク戦略研究 センターリサーチアシスタント

平成18 (2006) 年3月20日 印刷
平成18 (2006) 年3月25日 発行 **〔非売品〕**

関西大学社会学部紀要

第37卷 第2号

©編集兼発行者 関西大学社会学部
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

発行者 関 西 大 学
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
電話大阪(06)6368-1121 (大代表)

印刷所 株式会社遊文舎
大阪市淀川区木川東4丁目17-31

**BULLETIN OF THE FACULTY
OF SOCIOLOGY
KANSAI UNIVERSITY**

Volume 37, Number 2

March 2006

Sunnyside and darkside of social bond

Light and shadow of KIZUNA: A construction of KIZUNA scale
..... *Osamu TAKAGI and Yoshiyasu TOGUCHI* ... (3)

Impact of self-esteem on responses to social exclusion and rejection
..... *Yumi ENDO* ... (29)

Connecting with anxiety via text messages
..... *Daisuke TSUJI* ... (43)

Continued relations with lost objects:
Focusing on the psychological functions of keepsakes
..... *Hiromi IKEUCHI* ... (53)

Explorations in Affective Science

An Overview of Psychological Studies on Anger and Anger Expression
..... *Osamu TAKAGI and Shingo ABE* ... (71)

Autobiographical memory and emotion:
the neural bases of emotionally valenced autobiographical memory
..... *Rikuko SEKIGUCHI* ... (87)

The effect of depressive mood on face recognition and cognitive processing
in response to facial expression in non-clinical individuals
..... *Rikuko SEKIGUCHI, Jun YOSHIZU and Toshihiko AMEMIYA* ... (117)

On the Basic Affective Dimensions of Japanese Onomatopoeia
and the Basic Level of Japanese Phonesthemes
..... *Toshihiko AMEMIYA and Satohide MIZUTANI* ... (139)

Published by
**THE FACULTY OF SOCIOLOGY
KANSAI UNIVERSITY**
OSAKA, Japan